

中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム

第 20 回 運営委員会 議事録

(1) 日時

2021 年 11 月 9 日 (火) 15 時～17 時

(2) 会場

Zoom オンライン会議

(3) 参加者

① 運営委員

とっとり県民活動活性化センター	毛利葉
ふるさと島根定住財団	森山忍
岡山 NPO センター	石原達也
ひろしま NPO センター	松原裕樹
やまぐち県民ネット 21	伊藤彰

② オブザーバー

とっとり県民活動活性化センター	小林綾子
ふるさと島根定住財団	細田浩之

③ 事務局

ひろしま NPO センター	松村渉
---------------	-----

(4) 議題

① 2020 通常枠鳥取追加公募について

※使用資料：資料1

- 審査委員について意見交換を行い以下の方に依頼することとした
 - ◇ NPO 法人ひろしまね 理事長 安藤周治氏
 - ◇ 中国労働金庫 営業統括部 営業企画課 岡崎昭博氏
 - ◇ (株)シーズ総合政策研究所 代表取締役社長 藤原啓氏
 - ◇ 公益財団法人福武教育文化振興財団 和田広子氏
- 公募実施に向けたスケジュールを以下の通りとした
 - ◇ 公募期間：2021年11月9日～12月10日17時
 - ◇ 公募説明会：2021年11月15日
 - ◇ 申請団体ヒアリング：2021年12月16日～12月24日
 - ◇ 審査委員会：1月中旬 とっとり県民活動活性化センターにおいて候補日を複数選考し審査委員と調整することとした
 - ◇ 運営委員会：原則審査委員会と同日開催とするが、審査委員会の調整を優先し、日程が合わない場合は審査委員会後最短で実施できる日程調整を行うこととした
- 実行団体の内定および資金提供契約については2021年度中を目指すことを確認した
- 公募説明会はとっとり県民活動活性化センターが企画運営し、ひろしま NPO センターが支援することとした

② 2021 通常枠実行団体公募について

※使用資料：資料1

- JANPIA との資金提供契約（2021年10月22日締結）等の確認を行った
- 審査委員について意見交換を行い以下の方に依頼することとした
 - ◇ NPO 法人ひろしまね 理事長 安藤周治氏
 - ◇ 中国労働金庫 営業統括部 営業企画課 岡崎昭博氏
 - ◇ (株)シーズ総合政策研究所 代表取締役社長 藤原啓氏
 - ◇ 公益財団法人福武教育文化振興財団 和田広子氏
- 公募実施に向けたスケジュールを以下の通りとした
 - ◇ 公募要領作成：～12月中旬
 - ◇ 審査委員向けレク：12月下旬 ※要日程調整
 - ◇ 公募期間：2022年1月上旬～2月中旬 ※要調整
 - ◇ 公募説明会：2021年1月上旬 ※要調整
 - ◇ 申請団体ヒアリング：2022年2月中旬～2月下旬
 - ◇ 事前審査機関：2022年2月下旬～3月中旬

◇ 審査委員会：3月中旬 ※要日程調整

◇ 運営委員会：原則審査委員会と同日開催とするが、審査委員会の調整を優先し、日程が合わない場合は審査委員会後最短で実施できる日程調整を行うこととした

- 実行団体公募に向けた理解を深めることを目的に審査委員向けのレク（公募テーマのご説明等）を行うこととした
- 公募説明会についてはコロナ枠報告会と兼ねるなど、より実行団体の様子や取り組みがわかるようにするなど、構成団体ごとに企画することとした

③ コロナ1期、2期の報告会について

※使用資料：資料2

- 目的は、「情報公開・国民への説明責任を果たすことと同時に、実行団体の活動PRや報告を聞いた方（団体）が休眠預金事業にチャレンジしてみたいと思える。」とした
- 以下の5つのテーマを設け、各県が1テーマの報告会を企画運営することとした

	鳥取実行団体	島根実行団体	岡山実行団体	広島実行団体	山口実行団体
【鳥取テーマ】 こども・若者・家庭支援&地域コミュニティ	こども未来 智頭の森 ナーシングコア トラベルフレ				山口せわやき
【島根テーマ】 障がい者等就労・居場所支援	大地	YCスタジオ あったかいいね	未来へ まこと ペアレントサポ		NOBORDER
【岡山テーマ】 住居・居場所支援			オリーブの家 OBS ソーシャル クムレ		
【広島テーマ】 外国人就労・居場所支援			メンターネット	キャリア研究所 グローバル人財 安芸高田	青年海外協力隊
【山口テーマ】 フードバンク				正仁会 フード福山 環境保全	さぼーとねっと とりで

- 各報告会の企画書フォーマットを事務局において準備し、全体報告会として整理できるようにすることとした
- 実施時期については2022年1月中にすることとし、必要に応じて2021通常枠の公募説明会と兼ねるなど工夫を凝らすこととした
- 登壇する実行団体には諸謝金を支払うこととした
- 広報についてはfacebook広告等を活用することとし、予算計画書の修正を行うこととした
- 会場についてはオンラインもしくはハイブリットのいずれかとした
- 会場の賃借料やゲスト等についても予算計画に反映させることとした

④ コロナ1期、2期の予算案変更について

1) コロナ1期

※使用資料：資料 3

- 2021 年 11 月時点での予算執行状況を確認した
- 鳥根県については業務委託費（人件費分）を減額することとした
- コロナの影響を受け旅費交通費等の執行が困難な科目については減額し、報告会や備品・消耗品等を増額することとした
- 鳥取県において PC を購入することが提案され承認された
- 事務局において改めて予算計画書（案）を作成し、運営員会および JANPIA にはかり、できる限り速やかに計画変更を実施することとした

2) コロナ 2 期

※使用資料：資料 4

- 2021 年 11 月時点での予算執行状況を確認した
- 鳥取県、鳥根県、山口県については業務委託費（人件費分）を減額することとした
- コロナの影響を受け旅費交通費等の執行が困難な科目については減額し、報告会や備品・消耗品等を増額することとした
- 岡山、広島、山口において PC を購入することが提案され承認された
- コロナ 2 期の活動報告書を作成する案が石原委員より提案され、全会一致で承認された
- 活動報告書については外部監査も兼ね、外部事業者に委託することとした
- またより比較検討が可能な報告書にすることを目的に、コロナ 1 期の実行団体についても報告書に掲載することとした
- 事務局において改めて予算計画書（案）を作成し、運営員会および JANPIA にはかり、できる限り速やかに計画変更を実施することとした

⑤ その他

1) 2019、2020 の翌年度予算（JANPIA への確認用）について

- 2019、2020 通常枠については計画の変更なく翌年度予算を申請することを確認した

2) 評価について

※使用資料：資料 5

- 小林先生ご提案の組織診断シートについて協議を行い、本診断シートを活用して実行団体の組織診断を行う旨を確認した

3) 2022 年度以降の体制について

※使用資料：資料 6

- 中国 5 県コンソに係る役職員について確認を行った

(5) 資料等

- 資料1 2021 年度下半期予定表
- 資料2 コロナ 1 期、2 期報告会企画案
- 資料3 予算執行状況確認表_コロナ 1 期
- 資料4 予算執行状況確認表_コロナ 2 期)
- 資料5 組織診断シート (案)
- 資料6 中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム構成団体及び担当者一覧

以上で議事のすべてを終了し、17:00 に閉会した。

以上の議決を明確にするために本議事録を作成し、運営委員がこれに押印する。

2021 年 11 月 10 日

中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム

運営委員長 松原裕樹



運営委員 毛利葉



運営委員 森山忍



運営委員 石原達也



運営委員 伊藤彰

